

選定に必要な資料

(種目名 国語)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<p>・各領域とも学年段階に応じた適切な教材を取り入れている。また資料編では, 本編に対応し, 関連づけて読める文章が収められているため, 発展的な学習にも役立つよう工夫されている。(1年p186, p286)</p> <p>・基礎編では, 「学びを支える言葉の力」を3年間で系統的に積み上げ, 身につけられるよう工夫されている。(1年p230)</p>	<p>・本編・基礎編・資料編に分かれており, それぞれが関連しあって学習できるように配慮されている。</p> <p>・各学年「学びの扉」の後に「話す・聞く」「書く」活動を取り入れ, さらにその学習を基礎編の「学びを支える言葉の力」で定着できるように工夫されている。(1年p29→p30→p245)</p>	<p>・文法の学習や, 「書く」領域での学習材の選定において, 中学生の視点を意識したものが選ばれている。</p> <p>(1年p121, p205)</p> <p>・「話す・聞く」「書く」の領域では, 学習の手順の詳しい説明にあわせ, 構成例や報告例, 完成例などの, 豊富なモデルが示してあり, 学習を進める上でのおき手助けとなると考えられる。(1年p71)</p>	<p>・各学年巻頭の折り込みページには, 「学習の進め方」と「1年間の学習の流れ」が視覚的にわかりやすい形でまとめられており, 見通しを持って学習できるよう工夫されている。</p> <p>・発想・整理の方法として「グルーピング」や「ウェビング」「イメージの花火」など, 他教科や日常生活の中でも役に立つ情報活用能力を育成するように工夫されている。(1年p72, p292)</p>	<p>・「読む」領域の「てびき」は「読み取る」「考えを深める」の2本立てで学習の手がかりが示されているが, さらに「たすけ」というヒントがあり自学自習しやすいよう工夫されている。(1年p68)</p> <p>・新出漢字が, そのページの下段に載っており, 文章のどこに出ている漢字か見つけやすく, また文章で使われていない音訓の例語が載っており, 自主学習にも使えるよう工夫されている。</p>	<p>・資料編の「言葉を広げよう」では, 学習した内容に関連する言葉を集めやす工夫がされている。(1年p229)</p> <p>・漢字道場の欄は上段が説明で下段が練習問題になっており, 分かりやすい紙面構成になっている。(3年p58)</p>	<p>・本編・基礎編・資料編の3部で構成されている点が特徴的で, 本編の学習材で学んだ内容を基礎編で定着・復習できるようにしてある。さらに, 資料編では学習内容の資料としての役割を持つだけでなく, 発展的な位置づけとなっている。</p> <p>・教科書の随所に中学3年間を見通すような表現・図表があり, 今の学習の位置づけや系統が確認できるよう工夫されている。(1年p133, 2年p242, 巻末)</p>
E 学校図書	<p>・取り扱っている文章は, じっくりと読みこんで考える力を育成することができるように工夫されている。</p> <p>・「読む」学習材で学習したことと関連付けてその後の「活動を考える」という言語活動が設定され, 「話す・聞く」「書く」領域の単元を貫く言語活動が行えるよう工夫されている。(1年p143)</p>	<p>・全学年, 「絆」「生命」「群像」「伝統」「世界」の五つの単元で構成されている点に特徴があり, それぞれに「選択」という学習材が配置されていて, 補充・深化させることが可能になっている。(1年p22)</p> <p>・「発見する読み」で説明されている読解の手法を実際に使って読めるよう, そのすぐ後に学習材が配置されている。(1年p38)</p>	<p>・「～を見抜く」のページに, 全学年を通してナビ役キャラクターを登場させたり, 古典教材の資料として絵本や漫画を取り入れたりするなど, 学習材を身近に感じるような工夫がなされている。(1年p48)</p> <p>・「情報と表現」ではCMを取り上げたり, メールと手紙を比較させたりするなど, 興味を持って取り組めるように工夫されている。(1年p97)</p>	<p>・各学年の「情報と表現」では, 演習を進めながら表現の特色について考えを深められるように活動が工夫されている。(2年p85, 253)</p> <p>・読書案内では「網を編む」と題して, 単なる本の紹介ではなく, 関心のあるものから自分の世界を広げるための読書の広げ方, 深め方とされている点に特徴がある。(2年p275)</p>	<p>・学習材末の「学びの窓」は, 「読む前に」「読み深める」「まとめ」と, 学習の流れに沿って課題が設けられているため, 自学自習で取り組みやすい工夫がしてある。(1年p20)</p> <p>・詩の学習では, 比較して読んだり, 作者についての理解が深まるように, 同じ作者の作品が複数紹介されている。(1年p79, 2年p633, 3年p71)</p>	<p>・3年では, 日本語を表す文字として点字や手話, 指文字を取り上げ, 文字を通して自らの生活を広げられるよう工夫されている。(3年p251)</p> <p>・巻末に「古典に親しむために」として3学年とも同じページを設け, 繰り返し確認できるよう配慮されている。(1年p299)</p>	<p>・1年間を五つの大単元に分け, それぞれの単元の中で関連した学習内容を深く掘り下げていけるようにしてある点が特徴的である。</p> <p>・「学びの窓」の「ついた力を確かめよう」では「言葉の力」「考える力」「知識や技能」の3つの視点から学習を振り返り, 自己評価できるよう工夫されている。(1年p21)</p>

選定に必要な資料

(種目名 国語)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
F 三省堂	<p>・学年に応じた読みやすく適切な教材を取り入れ, 資料編には幅広い分野からの教材が多数収められており充実している。特に「考える広場」は, 他教科や総合的な学習の時間に役立つよう工夫されている。(1年p260-273)</p> <p>・「書く」領域では, 情報整理の方法等, スキルが身につく, 日常生活で役に立つよう工夫されている。(1年p44, 2年p196, 277)</p>	<p>・「読む」領域にある「読み方を学ぼう」は3年間の「読み」の学習を系統立てて学習できるようにわかりやすく図式化するなど工夫されている。(1年p32-34)</p> <p>・「話す・聞く」の学習材すべてにおいて, さまざまなグループ活動や話し合い学習が配置されており, 相手を意識した具体的な対話の活動ができるように工夫されている。(1年p26-30)</p>	<p>・落語, 即興劇(1年)対話劇, 古典の超訳, 歌舞伎(2年), 句会狂言(3年)など, 生徒の興味をひくような学習材が選定されている。(3年p62-63)</p> <p>・「読み方を学ぼう」や「書く」のページに図表を用いることで, 分かりやすく, また関心を持って学習に取り組めるようになっている。(1年p131)</p>	<p>・「学ぶ力を高めよう」では, 学年の段階に応じた内容となっており, 学年を追うごとにスキルアップできるよう配慮されている。</p> <p>・資料編には「読書の広場」の中に「情報探しのヒント」「情報活用のヒント」というページが設けてあり, 図書館等を使った情報活用について具体的な方法が紹介されている。(1年p234-237)</p>	<p>・各学習材の最後に設定された「学びを広げよう」では, 発展学習のための手がかりが示されている。中には2通りの課題が提示されているものもあり, 選択できるように工夫されている。(3年p197)</p> <p>・参考資料の中に全学年「学習用語辞典」があり, 自学自習に役立つ配慮がある。(1年p282-287)</p>	<p>・学習材の後に, 「学びの道しるべ」として, 学習の流れが示してあり, 図や表などを書き込みながら学習できるように工夫されている。(1年p130)</p> <p>・読み物教材の後には「私の本棚」コーナーがあり, 同じ作者の他の作品にとどまらず, 関連性のある本が表紙付きで紹介されている。(1年p129)</p>	<p>・巻末に「読み方を学ぼう一覧」があるように, 系統立てたスキル育成を強く意識したつくりとなっている点が特徴的である。</p> <p>・「学びの道しるべ」の, 投げかけや指示が明確で具体的である点など, 教科書全体を通して「はっきりとしたねらいで, わかりやすい国語の学習」を工夫しているといえる。(3年p169)</p>
G 教育出版	<p>・古きよき作品を大切にしつつ, 新しい文章や資料を幅広い分野から厳選してあり, 多様な文章や資料, 写真などに触れられるよう工夫してある。</p> <p>・全学年巻末の「言葉の自習室」に, 補充学習的な資料を掲載することにより, 基礎・基本の定着と同時に, 生徒の自主学習や総合的な学習にも生かせるように工夫してある。</p>	<p>・学習材末の「みちしるべ」には, 学習の進め方や学習のアドバイスが示してあり, 生徒だけでなく, 指導者にも授業のヒントとなるよう工夫されている。(1年p39)</p> <p>・各学年とも巻末に折り込みページを設け, 古典作品や伝統文化に興味を持つためのナビゲートの役割を持っている点に特徴がある。</p>	<p>・1年の古典学習の導入に川柳や十返舎一九の作品を取り上げて, 「笑い」という文化から切り込み, 2年の意見文を書く学習では4コマ漫画を切り口にしているなど, 興味・関心をもてるような工夫がなされている。(1年p105, 2年p188)</p> <p>・「文法の小窓」と「言葉の小窓」では会話形式で学習内容を取り上げており, 興味を持って学習に入れるような工夫がされている。(2年p77)</p>	<p>・学習材末に関連図書を紹介します, 読書により学習を深化できるよう工夫されている。また表紙写真を掲載することにより, 図書館や書店で探しやすいように工夫されている。</p> <p>・各学年とも実際に表現する活動を取り入れて, メディアの特性についての理解を深めながら, 自分の表現に生かせるような題材が選定されている。(1年p62)</p>	<p>・「みちしるべ」の中の「ここが大事」にはその学習材で学習した内容の要点がまとめられており, 自習や家庭での復習に役に立つ。(1年p40)</p> <p>・巻末にある「言葉の自習室」や「学びのチャレンジ」では, 本編の学習を踏まえた発展的学習や応用問題を豊富に掲載しており, 自分の力で思考力・判断力・表現力が高められるよう工夫してある。(1年p279, 328)</p>	<p>・各学年巻頭に, 「身につけたい言葉の力」「教科書の構成」「教材で扱う内容」「この教科書の使い方」を示したページを置き, 1年間の国語学習を概観できるように工夫されている。(1年p7)</p> <p>・読書単元で「作品解説」と「作者紹介」を資料とともに詳しく掲載し文豪と呼ばれる作家について学習できるようにしている。(1年p130)</p>	<p>・読み比べができるように複数の説明的文章を並べて単元構成したり, メディアを利用した学習で実際に表現する活動を取り入れたりするなど, 学習材の選定に工夫が見られる。(1年p62, p138)</p> <p>・学習材に「目標と振り返り」の欄があり, その学習を終えた後の振り返りや自己評価を重視している点に特徴がある。(1年p98)</p>

選定に必要な資料

(種目名 国語)

No.3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
J 光村 図書 出版	<p>・教科書全体を通じて発達段階を考慮するとともに, 生徒の学習意欲を喚起する教材が系統立てて配置されている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の中心の学習材の他に短時間で取り組める題材を提示し, 生活や他の学習の場で生かせるように工夫されている。また, 生徒同士の交流の場を設ける工夫もされている。(1年p36-39)</p>	<p>・1年最初の単元では, 「野原はうたう」という詩を通して「声を届ける」「書き留める」「調べる」などの, 中学校の国語授業開きを意識した内容となっている点(1年p13-24)が優れている。</p> <p>・全学年に東日本大震災に関連した学習材が取り上げられているように, 最新の文章が選定されており, また幅広い分野からの文章が取り入れられている。(1年p73, 2年p180, 3年p58)</p>	<p>・全学年にノンフィクション作品を取り上げて, 読書や社会への関心が高まるように工夫されている。(1年p190, 2年p180, 3年p182)</p> <p>・「読書案内」では, テーマ別に本を紹介し生徒の関心に基づく本選びができるよう工夫されている。(1年p90)</p>	<p>・情報の集め方, 吟味の仕方, 発信の仕方など今日的課題である情報活用能力の基礎を各学年で段階的に身につけられるように工夫されている。(1年p60, 2年p59, 3年p62)</p> <p>・「読む」の学習材では目標に対する「学習の振り返り」の観点が工夫されており, 自分の言葉で何を学んだのかをまとめるようになっていく。(1年p48)</p>	<p>・学ぶ項目を二つに焦点化させた目標が学習材の冒頭と「学習」のページに明記されることで常に意識化され, また, 「確認しよう」「読み方を参考にするよう工夫がされている。(3年p99)</p> <p>・「確認しよう」「自分の考えを深めよう」「自分の考えを持つ」という「学習の窓」で学習のプロセスが自然と身に付くように工夫されている。(1年p26)</p> <p>・「学習を広げる」には, 読書感想文の書き方など自主学習が進めやすいような工夫がされている。(1年p280)</p>	<p>・「読書コラム」では著名人が書いた本の推薦文を紹介するなど, 本の読み方の参考になるよう工夫がされている。(3年p99)</p> <p>・「学問的な文章を読むために」「文学的な文章を読むために」という総括的な学習用語解説が学年の学習内容に応じてまとめられている。</p>	<p>・「読む」学習材末に「確認しよう」「読めよう」「自分の考えをもとう」と, 学習の流れに沿って課題が設定されているように, 読解力とともに思考力・表現力を高める工夫がされている。(1年p171)</p> <p>・古典や近代文学の作家や今日的な課題を含んだ文章, ノンフィクションなど魅力的な文章が教材としてバランス良く配置されている点(1年p171)が優れている。</p>